Creative Enzymes®

ヒト前立腺由来トランスグルタミナーゼ4、組換え

Cat. No. NATE-1736

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素はクローンIMAGp958A10818Q2に基づいています。N末端にヘキサヒスチジンタグが融合しており、エンコードされたN末端アミノ酸配列はMHHHHHHAEELLL...です。この酵素はE. coliで生成され、イオン金属キレートクロマトグラフィーによって95%以上の純度で精製されます。
用途	トランスグルタミナーゼ4は、タンパク質やペプチド中のグルタミン残基から一次アミンへのアシル転移反□を触媒します。例えば、ペプチド結合グルタミン残基のアシル基をペプチド結合リジン残基の一次アミノ基に転送することによって、タンパク質間のε-(γ-グルタミル)リジン結合の形成を行います。トランスグルタミナーゼ4は、免疫沈降にも使用されることがあります。
別名	トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクター XIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミニルペプチド γ-グルタミル転移酵素; ポリアミン トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミニルペプチド:アミン γ-グルタミル転移酵素; タンパク質-グルタミン γ-グルタミル転移酵素; TG1

製品情報

種	人間
由来	E. coli
外□	白色の凍結乾燥固体。
形態	トランスグルタミナーゼは、10 mM Tris-HCl pH 8.1、150 mM NaCl、5 mM DTT、1 mM EDTAから凍結乾燥されています。サンプルにはマルトデキストリンが含まれています。
EC番号	EC 2.3.2.13
CAS登□番号	80146-85-6
分子量	78 kDa
純度	> 95 %（SDS-PAGEによる視□的）
活性	> 30 U/mg [活性は、Lorand et al. の方法に従って、N,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカダベリンの取り込み後の蛍光□強速度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)。]
活性化因子	10 mMのCa2+を加えてトランスグルタミナーゼを活性化します。
単位定義	1 Uは、1 a.u./minの蛍光強度の□加として定義されます（Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varianで測定; λex = 332 nm, λem = 500 nm; バンドフィルター = 5 nm; □出器強度 = 600 V; 温度 = 37°C, アッセイ体積 = 1 ml）。

使用法とパッケージング

包装	100 µg
再構成	H2Oの体積を、凍結乾燥粉末のバイアルに加えます。固体が溶解するまで、バイアルを優しく回転させます。再構成後、溶液は作業用アリコットで冷凍保存する必要があります。短期間の保存のために氷の上で冷却してください。

保管・発送情報

保存方法	-20 °Cで作業用アリコットに保存してください。繰り返しの凍結と解凍は推□されません。 常温での配送が可能です。